



Mitake
Sayaka
Salon

123
Mitake Sayaka Salon (vol.54)



美しく、深く、しつとりと、安達&入江のゴールドデンペアが再び登場！

デュオリサイタル
入江一雄
(ピアノ)
安達真理
(ヴァイオラ)
&

Viola X Piano

Photo: ©Sho Yamada

2020年

2月9日(日)

開場14:30/開演15:00

入場料:会員3,500円/一般4,000円
/学生2,000円(全席自由席)

<演奏会に寄せて>

前回2019年7月に初共演を果たしたピアニストの入江一雄さんですが、嬉しいことに、早くも再共演が叶うこととなりました、名付けて“堪能プログラム”!!

武満徹の詩的な世界、クラークの華やかで色彩豊かな作品、ブラームスの不朽の名作…。

ヴァイオラ通の方々にとっては定番であり、どれもヴァイオラの音色を思う存分堪能できる名曲ばかりですが、入江一雄さんの卓越した技術と繊細な感性をもっていかに花開くか、私自身も心から楽しみにしております。音によって美しく彩られる時間を、ぜひ感じにいらしてください!ご来場心よりお待ちしております。

(安達 真理)



<プログラム>

武満徹: 鳥が道に降りてきた

レベッカ・クラーク: ヴァイオラとピアノのためのソナタ

ブラームス: ヴァイオラ・ソナタ第2番 変ホ長調 Op. 120

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。



Photo: ©Tsuneko Koga



美しく、深く、しっとりと、安達&入江のゴールデンペアが再び登場!

安達真理 & 入江一雄

デュオリサイタル

Mitake Sayaka Salon (vol.54)

2020年

2月9日(日)

開場14:30/開演15:00 入場料:会員3,500円/
一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)

ブラームスが到達した深遠な美しさをたたえる最期のソナタ、レベッカ・クラーク、武満徹が遺したヴィオラの名作を中心に、美しく、深く、しっとりと——



Photo © Sho Yamada



Photo © Tsuneo K...

安達真理 (ADACHI Mari) Viola

4歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向。卒業後、同大学研究生修了。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経て、ローザンヌ高等音楽院修士課程(最高点)、ソリスト修士課程を修了。

霧島国際音楽祭にて特別奨励賞、大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、ウィーン国立音楽大学国際夏期アカデミーコンクールにてソリスト賞受賞。

バンベルク交響楽団にて客演首席、インスブルック交響楽団にて副首席を務めたのち、2016年よりパーヴォ・ヤルヴィ氏率いるエストニア・フェスティバル管弦楽団メンバー。

クァルテット・レストロ・アルモニコ、Ensemble FOVEなど、室内楽奏者としても精力的に活動している。

ソリストとして、バーデン=バーデン・フィルハーモニー、ローザンヌ室内管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。

2018年に深沢亮子氏とCD『Winterreise』をリリース。東京オペラシティ文化財団主催「B→C」、ラ・フォルジュレネ・オ・ジャポンほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」などのメディア出演等、活躍の場を広げている。

オフィシャルサイト <http://www.mariadachi.com/>

入江一雄 (IRIE Kazuo) Piano

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学・同大学院を首席で卒業・修了。

第77回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、第1回CWPM(ボルトガル)第5位入賞他、受賞多数。ソロ活動だけでなく国内主要オーケストラとの共演や室内楽の演奏機会も多い。近年ではN響コンサートマスター篠崎史紀氏から絶大な支持を受け、同氏リサイタルや室内楽公演で多くの共演機会を得ている。

2012-13年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション・2015年度文化庁(新進芸術家海外研修制度)より助成を受け、チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科に在籍し、名匠エリソ・ヴィルサラーゼに師事。

2016年夏に修了シディプロマ取得。2017年度より東京藝術大学にて教鞭をとる。王子ホールレジデンス「ステラ・トリオ」メンバー。

第5回あおによし音楽コンクール奈良にて、ゲスト審査員を務める。

twitter公式アカウント

<https://mobile.twitter.com/kazustin49>

2019年7月、衝撃的な名演となった安達真理&入江一雄のゴールデンペアが多くのリクエストにより再び登場!!

メイン・プログラムはブラームス最晩年の作、ヴィオラ・ソナタ第2番(変ホ長調 Op.120)。

ブラームスが死の3年前に到達した深遠な美しさをたたえた最期のソナタで、原曲は有名なクラリネット・ソナタで作曲家自身によってヴィオラ版に編曲されました。安達&入江のペアが秀逸なコラボレーションによって、ブラームス最晩年の真髄に迫ります。

次に、イギリスのヴィオラ奏者・女性作曲家のレベッカ・クラークのヴィオラとピアノのためのソナタ。

さらに、最晩年の武満徹が今井信子へのプレゼントとして作った「鳥が道に降りてきた」等、演奏会では滅多に聴くことができないようなヴィオラとピアノの豪華なプログラムが勢ぞろいです!

パーヴォ・ヤルヴィ、プロムシュテット、小澤征爾等の率いる内外の著名オケで首席ヴィオラ奏者として活躍してきた安達真理さんのヴィオラは、その人間力とキャンパシティの広さ深さを背景とした“あたたかさ、やさしさ、共感性”といった人間的な魅力を感じずにはいられません。そうした特長は、紡ぎ出される一音一音の音色と響きから体温を感じるほどです。

また、オーケストラでは楽員全員の演奏や響きの要となるヴィオラですが、入江一雄さんとのコラボでは、入江さんの作品の特性を照らし出すような知的な明瞭さをもったピアノとの抜群の相性の良さを披露していただきます!ゴールデンペアとしてのお二人の、深く、静かな気迫溢れるデュオをぜひこの機会にご堪能ください!
(美竹清花さろん)



大ホールのプラチナ席をしのごく
“美竹清花さろんという楽器”の中で
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、

演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。

誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社ILA (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 9:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188

